13

宮城学院女子大学

Miyagi Gakuin Women's University

「愛のある知性」を備えた、心豊かで自立した女性を育成

宮城学院女子大学は1886年開学の、東北を代表するミッションスクールの一つです。「神を畏れ、隣人を愛する」をモットーに、神を畏れる謙虚さと人の造ったものを恐れない勇気、そして隣人愛に富んだ女性を育むことを信条としています。現代ビジネス、教育、生活科学、学芸の4学部から成り、約3000人の学生が学んでいます。

本学の教育は、リベラルアーツを基軸としています。古代ギリシャ・ローマ時代に「自由人の技法」として成立したリベラルアーツの基本は「問うこと」。千年に一度の大地震、百年に一度の感染症パンデミック、75年ぶりの世界秩序の崩壊、と次に何が来るか分からない時を迎え、再びリベラルアーツが大切な時代になりました。誰も正解を知らない中、よい問いを持つ者だけが新しい時代を切り拓きます。

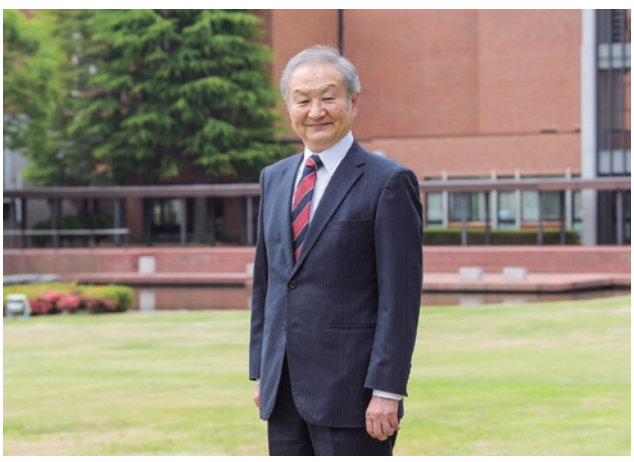
本学のリベラルアーツの特徴は、キリスト教学と音楽と女性学にあります。キリスト教学では、個の尊厳に基づく多様性理解と共生を学びます。音楽科を持つ本学では一年生全員が合唱をしますが、今後、より高度な音楽教育や情報教育を組み入れ、数学からアートまでを網羅する本学独自のリベラルアーツ教育を構築していきます。

自然の緑とレンガ色の建物が美しい景観を作る閑静なキャンパス。

女性のエンパワーメントと社会の多様性向上に貢献する女子大学

「多様性」は現代社会のキーワードの一つです。ハーバード大学の研究によれば、多様性に富むチームからイノベーションが起こるのだそうです。私は半導体研究者として40年を過ごしてきましたが、日本の失われた20年は、日本社会が多様性を排除してきたツケのように思われます。2021年に世界経済フォーラムが発表した日本のジェンダー・ギャップ指数は156カ国中120位、G7中で最下位でした。この順位は日本社会の多様性の欠如を端的に表しています。社会の多様性向上にとって女性と子供の権利を守ることは一丁目一番地です。女子大学の存在意義はそのための女性のエンパワーメントにあると言えるでしょう。本学のリベラルアーツ科目「MGUスタンダード」では女性の生き方を学びますが、それは、自分のためだけでなく、日本そして世界を豊かにするためなのです。

本学では、今年度から本学の学びの特徴を「愛のある知性を。」という言葉で言い表すことにしました。大学の伝えるべき知性は、最後は人と人が共に生きることに奉仕すべきだとの思いが、この言葉には込められています。



末光眞希 学長

すえみつ・まき／1980年東北大学大学院工学研究科電子工学専攻修了。工学博士。「二次元半導体グラフェンの画期的製法」により、日本表面科学会論文賞（2011年）、IAAMメダル（2016年）などを受賞。2019年から現職。趣味は合唱で、オペラ出演やカーネギーホールでの指揮経験がある。

問い合わせ先：宮城学院女子大学　https://www.mgu.ac.jp